

第32回公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和6年12月19日（木）13時30分～18時00分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

(2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(3) 警察署協議会委員の解嘱

警察本部から、警察署協議会委員の解嘱について報告を受け、決裁した。

(4) 公安委員会規則の一部改正

警察本部から、公安委員会規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

(5) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 犯罪抑止総合対策推進状況（11月）

警察本部から、

- 令和6年11月末の刑法犯認知件数は8,901件と、前年同期比356件（4.2%）増加した。
- 「刑法犯の割合」は、窃盗犯が6,237件と、全体の約7割を占めており、窃盗犯のうち認知件数の多い順は、自転車盗、万引き、車上ねらい、空き巣、オートバイ盗となる。県警察では、犯罪総量抑止、県民の体感治安の向上を図ることを目的として11月1日から本部生活安全部員による街頭犯罪抑止活動を展開しているほか、11月29日（金）、イオンモール岡山において歳末特別警戒出発式を開催し、年末年始における犯罪被害防止に向けた呼び掛けを行った。
- 「特殊詐欺認知状況」は161件と、前年同期比7件減少、被害額は約4億5,000万円と、前年同期比約4,800万円減少した。11月中、未納料金名目の架空料金請求詐欺や市役所職員をかたる年金の還付名目等の還付金詐欺の被害を多く認知したことから、岡山県コンビニエンスストア防犯協議会と協働の上、コンビニエンスストアにおける声掛け訓練を実施したほか、岡山県銀行協会等と被害防止を呼び掛ける広報啓発活動を

実施した。

- 「SNS型投資・ロマンス詐欺認知状況」は126件と、前年同期比100件増加、被害額は約15億5,520万円と、前年同期比約13億8,920万円増加した。SNS型投資・ロマンス詐欺については、引き続き継続的な広報を行い、被害防止に努めていく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「架空料金請求詐欺については、詐欺であると分かっているにもかかわらず、実際に未納料金のメールが届いた場合、判断に迷うことがあるため、メールの手口を周知していただきたい。

特殊詐欺については、手口をマニュアル化し、計画的な犯行に及んでいる。被害防止のためには水際対策が重要であるため、金融機関やコンビニエンスストアに対する意識付けを行っていただきたい。」

旨を発言した。

(2) 110番の日に伴う広報活動

警察本部から、

- 毎年1月10日の「110番の日」に合わせ、各種広報媒体等を活用し、110番通報要領、110番映像通報システム等を広報し、適正な利用促進と周知を図るため、1月9日(木)、岡山市南区築港新町地内の第一ひかりこども園において、通信指令課と警察署が合同で広報イベントを行う。
- 広報イベントでは、110番通報に関する講話、こども園職員等による110番映像通報体験、110番映像通報を利用した不審者侵入対応訓練のほか、警察音楽隊によるミニコンサートを開催する予定である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「来日して日の浅い外国人は、110番通報の存在は認知しているが、言葉の壁があり通報できないという声を聞くことがある。110番通報が外国人だけでなく、子供にとっても使いやすいものとなるようにしていただきたい。

110番への間違い電話を減らすためにも、標語にある「110番 あわてず あせらず 落ち着いて」の内容を周知して、110番が効率的に運用されるようにしていただきたい。」

旨を発言した。

(3) 重要事件認知・検挙状況（11月）

警察本部から、

- 令和6年11月中の重要事件認知件数は13件と、前年同期比4件減少、検挙件数は強盗傷人事件や殺人未遂事件等21件と、前年同期比増減なしであった。
- 令和6年11月末の重要事件認知件数は138件と、前年同期比10件減少、検挙件数は151件と、前年同期比1件増加した。
- 検挙率は109.4%で推移しており、暫定値では全国1位である。

旨の報告を受けた。

委員が、

「犯罪被害者の見守り活動や検挙した被疑者の余罪捜査など、検挙後の対応もしっかりとしていただき、心強く思う。

性犯罪の犯人は、抵抗できない子供や見た目がか弱い女性を狙っている。女性を被害から守るため、小学校の高学年くらいから、防犯に関する教養を行っていただきたい。」

旨を発言した。

(4) 交通事故発生状況（11月）

警察本部から、

- 11月末現在の総事故件数は4万5,638件と、前年同期比223件減少、そのうち人身事故は4,420件と、前年同期比169件減少した。
- 11月中の交通事故による死者は7人で前年同期比3人増加し、11月中に発生した死亡事故は7件中2件が自転車の用水路等への転落事故であったほか、7件中3件が夜間の発生であり、死者7人中5人が高齢者であった。
- 11月末の死亡事故として、車両単独等一方的過失による事故が32件であったほか、夜間の事故が28件であり、高齢者の死者が32人であった。
- 薄暮・夜間の交通死亡事故抑止に向けた取組として、各警察署に対し、事故抑止対策の強化を指示するとともに、警察本部員による薄暮・夜間におけるレッド走行を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「最近、夜間に暴走族が増えているように感じる。事故を誘発するおそれもあるため、ほかの交通事故抑止活動と併せて取り締まっていただきたい。

用水路への転落の危険性がある箇所については、行政と連携してハード面の対策を講じるとともに、啓発活動を実施していただきたい。自転車の酒気帯び運転の罰則化等、改正道路交通法の周知を徹底していただきたい。」

旨を発言した。

(5) 警察署協議会委員の任期満了に伴う候補者の人選

警察本部から、警察署協議会委員の任期満了に伴う候補者の人選について報告を受けた。

(6) 岡山県警察官採用試験に係る新たな試験区分の導入

警察本部から、岡山県警察官採用試験に係る新たな試験区分の導入について報告を受けた。

(7) 令和6年度岡山県警察職員駅伝競走大会の開催概要

警察本部から、令和6年度岡山県警察職員駅伝競走大会の開催概要について報告を受けた。

(8) 令和6年度岡山県職員知事表彰の決定

警察本部から、令和6年度岡山県職員知事表彰の決定について報告を受けた。

(9) 高校生対象の冬季防犯ボランティア体験事業の実施

警察本部から、高校生対象の冬季防犯ボランティア体験事業の実施について報告を受けた。

- (10) ストーカー規制法に基づく禁止命令等
警察本部から、ストーカー規制法に基づく禁止命令等について報告を受けた。
- (11) SNS 広告用広報動画コンテスト審査
警察本部から、SNS 広告用広報動画コンテスト審査について報告を受けた。
- (12) PⅢ端末の秘匿措置
警察本部から、PⅢ端末の秘匿措置について報告を受けた。
- (13) 交通安全県民運動スローガン等
警察本部から、交通安全県民運動スローガン等について報告を受けた。
- (14) 町道里見716号線における信号機等整備の経緯
警察本部から、町道里見716号線における信号機等整備の経緯について報告を受けた。
- (15) 指定自動車教習所の移転
警察本部から、指定自動車教習所の移転について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和7年1月9日（木）13時00分から開催予定